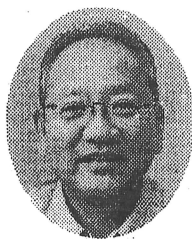


ワークステーション (太田市新道町)

精密板金加工による
電機・医療機器などの
金属製品の部品設計か
ら試作、量産まで自社
で行う。今後は技術力
を生かして設計試作の
代行サービスを本格的
に事業化。全国でも珍
しい設計代行の専門業
者を目指す。



海老沼社長

精密板金

これ
造って
ます

設立は二〇〇七年。

歴史は浅いが、精密板金メーカーの熟練技術者で立ち上げただけに、技術力は定評がある。素材の厚さ二ミ以下、薄板加工が得意分野。レーザー表面加工なども行う。

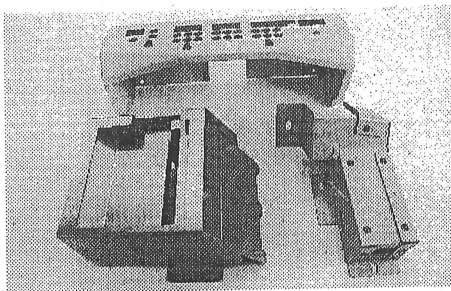
大手メーカーから発注される板金加工製品は、型抜きや曲げなどで加工した複数の部品を主に溶接で組み付け

る。この際、製品に仕上げるためにどんな部品が適切かを検討、設計する必要がある、これを自社で一貫して行う。

精密板金
加工の量産

メーカーに勤務していた設計、加工、プログラミングなどの熟練技術者で2007年10月に設立。従業員12人。08年9月期売上高は約2億円。

板金加工製品



中小板金メーカーでは、こうした部品の設計を行える技術者が不

双方の技術者が一気に逼迫することが予想される。

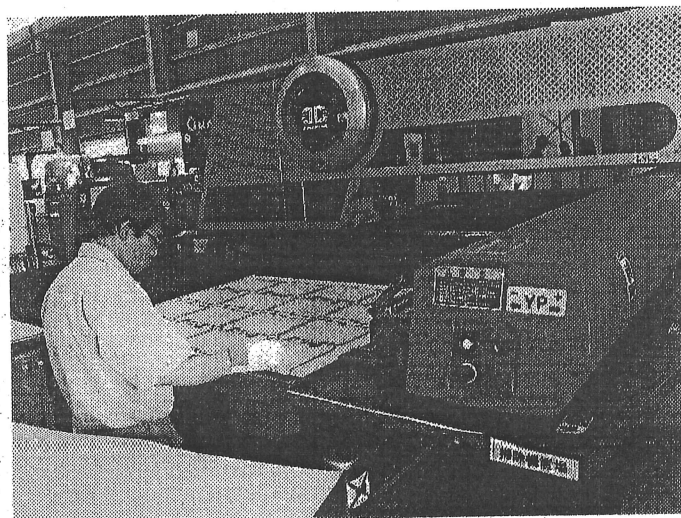
設計代行 特化目指す

足傾向にあり、発注する大手メーカーも外注依存が長く、部品レベルで設計できる技術者は減少している。団塊の世代の退職に伴い、

事業化する部品設計代行サービスは、こうした技術不足を補うのが狙い。設計だけでなく、加工工程、ゆがみ補正など量産に必要な

データを作成して受注側に提供。発注側のコストを削減するとともに、中小メーカーの受注機会拡大につなげられると見込む。この代

行サービスは県が経営革新計画に承認した。海老沼恵也社長は「価格競争の厳しい量産の分野で張り合うつもりはない。将来的には部品設計代行サービスに特化したい」と抱負を語っている。



積極的な設備投資で迅速に試作できる態勢が整う